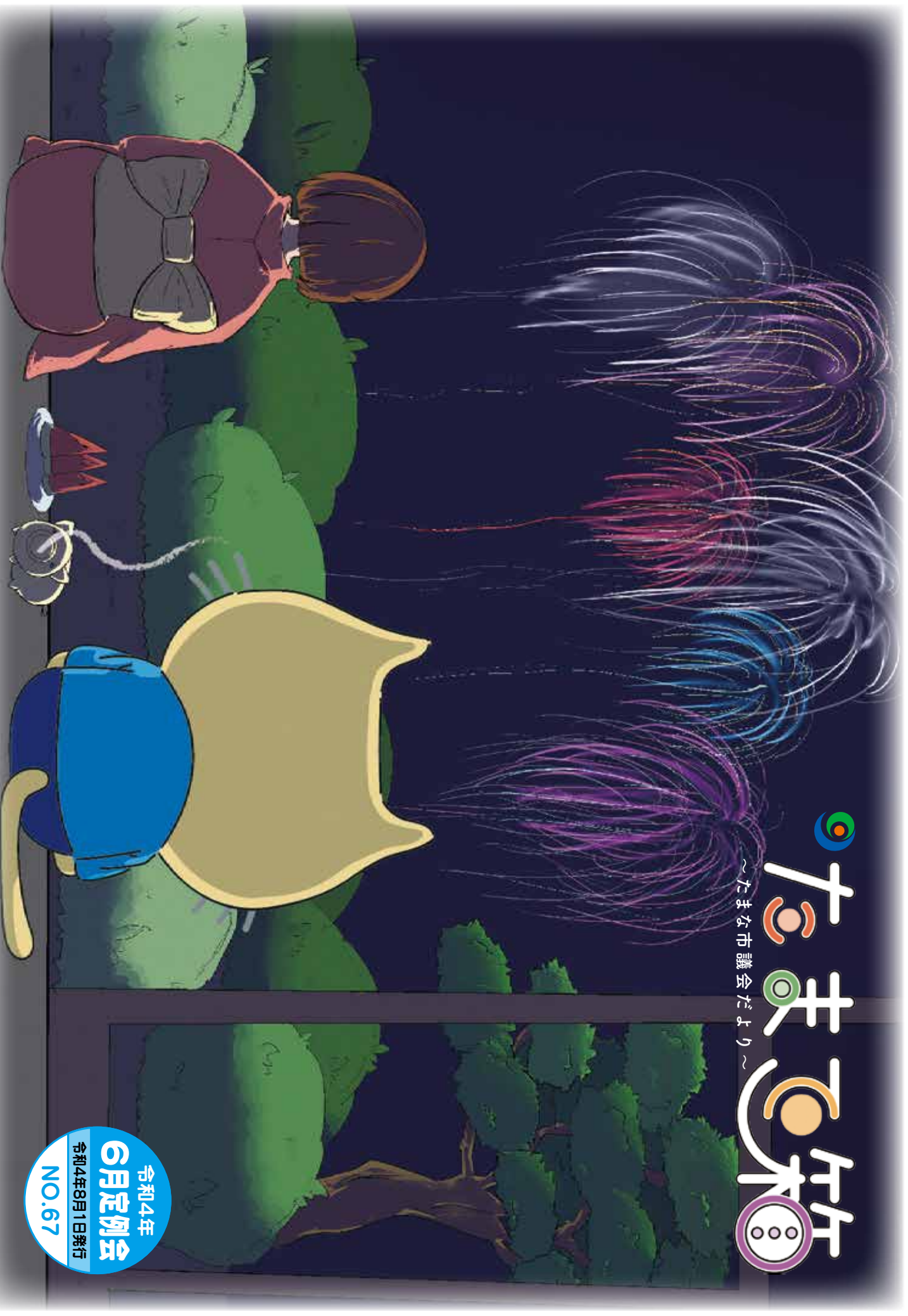


たまて箱

～たまな市議会だより～



令和4年
6月定例会
令和4年8月1日発行
NO.67

表紙イラスト：「夏夜のしだれ柳」

玉名女子高等学校 ビジネス科アニメデザインコース 3年 氷本 みずもと あやさん

学校教育施設整備基金積立金 3,395万円

(旧梅林小学校の売却収入を積立てて、必要時に整備資金とするもの)



旧梅林小学校

商店街等イベント補助事業 1,000万円

(商店街等が独自で実施するイベント費の3/4を支援するもので100万円を上限とする)



足湯で開催された音楽イベント

玉名・小天温泉再始動プロジェクト 550万円

(観光客誘致の起爆剤として、福岡都市圏の女性をターゲットにモニターツアーを実施)



しらさぎの足湯

令和4年 第4回定例会(6月)

6月3日▶6月27日 25日間

6月の定例会では、令和4年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事など17件の市長提出議案を可決、同意した。

その他に、請願1件を採択、最低賃金の大幅な引き上げを求める陳情は不採択とした。豊かな学びの実現・教職員の定数改善を図るための政府予算に係る国への意見書を可決し閉会した。

米価下落臨時支援事業 1億2,161万円

(影響を受けた農家に、令和3年産のコメの販売額に応じ補助する)



田植え風景

トマト農家の施設園芸ハウス

農水産業燃油価格緊急補填事業 1億328万円

(施設園芸または漁業経営セーフティネット構築事業加入者に対する支援)

令和4年 第4回定例会 議案の審議結果

全会一致で可決、同意した議案

議番号	議 案 名	議番号	議 案 名
議第42号	令和4年度玉名市一般会計補正予算(第2号)	議第51号	玉名市公衆便所設置条例の一部を改正する条例の制定について
議第43号	令和4年度玉名市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第52号	玉名市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
議第44号	令和4年度玉名市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第53号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について
議第45号	令和4年度玉名市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	議第54号	工事請負契約の変更について
議第46号	令和4年度玉名市水道事業会計補正予算(第1号)	議第55号	財産の処分について
議第47号	令和4年度玉名市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	議第56号	副市長の選任について
議第48号	令和4年度玉名市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	議第57号	人権擁護委員候補者の推薦について
議第49号	玉名市岱明防災コミュニティセンター条例の制定について	議第58号	令和4年度玉名市一般会計補正予算(第3号)
議第50号	玉名市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	意 見 書	豊かな学びの実現・教職員定数改善を図るための2023年度政府予算に係る意見書の提出について

陳情・請願 審議結果

	件 名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
請第1号	豊かな学びの実現・教職員定数改善を図るための2023年度政府予算に係る意見書の提出に関する請願	文教厚生委員会	採択 (全会一致)	採択 (全会一致)
陳第3号	感染症拡大に強い地域経済にするため最低賃金の大幅引上げと全国一律化を求める意見書の提出に関する陳情	建設経済委員会	不採択 (賛成少数)	不採択 (賛成少数)

討論 私はどう考える!!

陳第3号

原案賛成

前田 正治

最低賃金の大幅引き上げを求める意見書提出に関する陳情に賛成
安定した生活ができない年収200万円以下のワーキングプアは社会問題で、最低賃金の引き上げは生活改善や少子化対策の一環としても重要である。消費購買力を上げ、低迷する日本経済活性化の起爆剤になるのではないかと。

人 事

(敬称略)

★人権擁護委員候補者の推薦

きたもと せつよ
北本 節代

★副市長の選任

むらかみ たかゆき
村上 隆之

ここが聞きたい

一般質問

6月13日(月)・14日(火)・15日(水)

録画映像を
ご覧いただけます



前田 正治 議員
(日本共産党)

質問 危険な交差点には緊急な安全対策を！

地域医療センター下や寺町大坊線の交差点では近年交通事故が発生。地域住民からは、「信号機の新設」や「常時青信号を黄色または赤の点滅に」等の危険性を回避する要望がある。住民や通行車両の安全確保のための緊急な対策を求める。

総務部長 安全確保に向けた対策を、可能なことから検討していく

信号機は、横断する歩行者数や交通量等の条件を総合的に判断して公安委員会が設置するもので、市の裁量で判断することはできない。しかし、地域住民を始め市民の安全確保のため、改善できることから進めたいと考えており、玉名警察署や道路管理者である熊本県・本市の関係部署と連携を



▲寺町大坊交差点。県道側は常時「青」信号で、歩行者用の押しボタンが設置されている

図り、路面標示等の安全確保に向けた対策を検討していきたい。



その他の質問

- インボイス制度における公共事業受注
- 豪雨災害の備え



瀬崎 剛 議員
(創政未来)

質問 子どもたちを危険から守ろう！防犯カメラの設置状況は

本市のわいせつ・声かけ事案は、玉名警察署の調査によると、令和元年37件、令和2年43件、令和3年64件と増加傾向にある。中でも、子どもが被害にあうケースの大半は、下校中の人けのない場所で発生しており、防犯カメラを設置する必要性が高まっている。

総務部長 相当数の防犯カメラが設置されており、設置支援補助事業にも取り組んでいる

防犯カメラの設置状況は、公共施設の屋内外に133基を設置。市内商店街や事業者が各々の店舗に設置した物を含むと相当数の防犯カメラがあると推察。また、「防犯カメラ設置支援補助事業」に取り組んでお



り、令和3年度には10団体に対し20基の設置が完了。今年度は9団体から20基の設置要望があっている。犯罪抑止として、防犯カメラの需要と防犯意識の高まりを痛感している。



その他の質問

- 職員採用について



委員会報告

総務

6月17日開催

住民の意見を聞き計画を策定後に、事業費を算定する

質問 過疎地域持続的発展市町村計画への具体的な事業費の計上や過疎債の期限は。

答え 計画作成にあたり、パブリックコメントを募集し、地元説明会で住民の意見を聴取。その後県との協議、議会の議決を得て事業費を算出することになる。過疎法の期限は令和12年度まで。

旧梅林小学校の売却額は適正か

質問 企業誘致の観点から、跡地の処分価格は適正なのが。また契約後、住民は施設の一部を利用できなくなるのが。

答え 売却価格は、閉校後のプロポーザル実施に伴い平成30年に不動産鑑定を実施し、今回時点修正を加え算出したもので、適正と考える。契約先は、(株)カンケンテクノ（京都本社）で精密機械等を扱っており、契約後の住民の施設利用は難しいであろうとの説明を行っている。



▲旧梅林小学校

建設経済

6月20日開催

コメ農家への臨時支援

質問 米価下落臨時支援事業に関し、1キロあたり10円補助の積算根拠と対象世帯数は。

答え 令和3年のコメ販売額が1俵あたり約2,000円下落したため、1キロに換算した3分の1を農家に支援するもので、件数としては最大1,053件が対象となる。

“くまモン” 効果で集客を

質問 くまモンを活用した地域資源創出業務委託の内容とオブジェを作る考えはあるのが。

答え 草枕山荘キャンプ場のロッジ1棟を、オンリーワンの意味合いでくまモン仕様に改装する。オブジェの詳細は、草枕温泉から有明海を眺めるくまモンの姿で、スケールの大きいモニュメントとして建造する。まちのシンボルとして集客を狙う。



▲ロッジ4棟が立ち並ぶ草枕山荘キャンプ場

文教厚生

6月21日開催

売却金はいざという時の備えに

質問 旧梅林小学校の土地・建物売り払い収入を学校教育施設整備基金積立金に充てるとの事だが、積立金はどのように使うが。

答え 通常の施設整備費については、国庫補助金や有利な起債を財源とする予定である。この基金は特定目的基金であるため、いざというときの施設整備の支出にあてる。

認知症予防には『脳トレ』普及を

質問 脳トレリーダーの育成講座の目的と募集人数は。

答え 介護予防活動の一環として、認知症予防のための脳トレを全市的に展開するにあたり、講師役として必要な人材を育成することを目的としている。募集人数は基礎編と実践編どちらも最大30名を予定。



▲脳トレリーダー育成講座の様子

質問 物価上昇や米価下落で農業者にもダメージ。新たな支援策を！

肥料・農薬・ビニール等の農業用資材が高騰。生産者の安定した経営のため、資材購入の補助が必要と考える。地方創生臨時交付金などを活用した、新たな農業支援に対する市長の考えは。また、コロナ禍の需要縮小で米価下落が続いているが、支援対策は。

市長 産業経済部長 農業者にとって安心して経営を続けられる支援策を検討する

農業者がこれからも安心して経営を続けられるよう、価格が高騰している肥料や農薬等の資材購入費に対する新たな支援策の事業化について、その必要性を含め現在検討している。

米価下落に対しては、品種銘柄に関係な



く販売数量に応じた一定額を補助する支援事業を実施する。対象は、米価下落の打撃を受けた令和3年産主食用米を、30a以上の農地で生産・販売したコメ農家としている。



質問 JR玉名駅の外側トイレの早急な整備で、公共交通利用者の不便を解消できないか

JR玉名駅前は、市内循環バスの発着所や乗合タクシーの乗降場所があり、市内の人々が往来する場所である。現在、JR玉名駅の外側トイレが使用できない状態だが、公共交通の利用者のためにも早急な整備が必要と考えるが市の方針は。

企画経営部長 将来的な駅前開発を念頭に、利用しやすい必要最低限の整備を行う

地元からの利用再開の要望に加え、JR玉名駅は乗合タクシーや路線バスの乗降場所、重要な交通結節点である。公共交通利用者や駅前でのイベント開催時の不安解消のためにも構外トイレは必要と判断している。将来的な玉名駅周辺開発を念頭に置



▲公共交通機関の乗継ぎ場所としても利用されるJR玉名駅周辺

き、必要最低限の整備を検討している。地元高校生等のアイデアも取り入れながら、誰もが利用しやすいトイレとなるよう整備に取り組む。



その他の質問

- 中学校の部活動地域移行
- 学校づくり委員会の設置

質問 今秋実施のプレミアム付商品券事業はどの様に市民に周知・運用されるのか

今秋実施予定のプレミアム付商品券事業は、紙媒体とデジタルの2本立てのため、高齢者にも優しく、キャッシュレス時代にも合っており、評価出来る事業である。初めてのキャッシュレス導入に際し、運用はどのように計画し、周知を図るのか

産業経済部長 広報をまな等により広く周知し、利用方法の問合せはコールセンターを設置する

デジタル商品券は事業者、利用者双方の手間が省かれる等のメリットがあり、キャッシュレス決済の推進を図るためにも今回導入した。なお、紙商品券も同時に発行することで、多くの市民の利用を見込んでいる。利用方法は、スマートフォン等の端末



▲紙とデジタルのプレミアム付商品券事業イメージ

に専用アプリをダウンロードし、デジタル商品券の購入及び買い物時の決済を行うこととなる。各種問合せはコールセンターで対応し、また、専用ホームページの他、市の広報紙等を利用して周知を図る。



その他の質問

- 市道の除草業務委託
- 教職員の働き方改革を踏まえた部活動改革

質問 出産前後の母子支援に、民間の訪問支援サービス「産後ドゥーラ」を活用する考えは

コロナ禍で出産前後の母子は、外出や学びの機会が減り孤立しやすい状況にある。母子に対する現在の支援は。また、産後ケア事業は自治体によって取組も様々だが、事業の必要性と、民間の「産後ドゥーラ」を母子支援として活用する考えはあるのか。

健康福祉部長 他市町の状況等を踏まえ、今後活用について検討したい

母子健康包括支援センターを設置し、出産前後の様々な相談に応じ、産後は家庭を全戸訪問し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援に努めている。令和4年度からは、家族等の支援が受けられず、心身の不調や育児不安のある産婦を対象とした産

※産後ドゥーラ：産後ケアの専門家



▲コロナ禍のため、二人きりで公園を散歩する親子

後ケア事業（宿泊型・デイサービス型）を開始している。「産後ドゥーラ」については、他市町の状況や利用ニーズ等も踏まえ、活用や補助等について、今後検討したい。



その他の質問

- ヤングケアラーに対する支援

質問 多くの方が利用する菊池川緑地公園の管理状況と将来的な公園維持の考えは

高瀬大橋下の河川敷周辺の緑地公園は、サッカー・ラグビー・グラウンドゴルフなどに利用され、多くの方に喜ばれている。公園管理は、ボランティア団体によって維持されていると聞くと、委託先や費用は。また緑化維持のため、10年・20年後の考えは。

建設部長 スポーツの場として親しまれる、みどり豊かな菊池川河川緑地の存続に努める

菊池川河川敷の通称グリーンベルトや鶴の河原河川緑地の維持管理は、「NPO法人菊池川水域のやさしい自然と豊かな心を育むつくりの会」へ委託し、契約内容は草



▲子どもたちがサッカーの練習をしている菊池川緑地公園

刈機の修繕、燃料費及び資材費等で年間172万円と極めて安価な委託料となっている。今後も引き続き団体の協力を得ながら、スポーツの場として幅広い世代に親しまれる、みどり豊かな菊池川河川緑地の存続に努める。



その他の質問

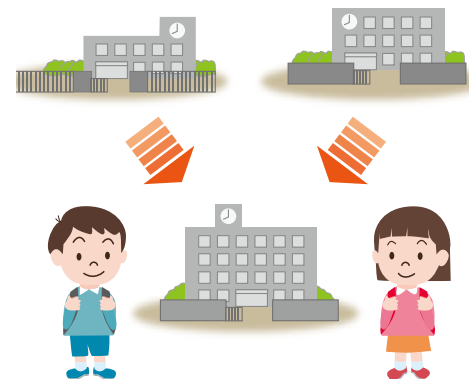
- 玉名市総合計画の「自然と暮らしを守るふさとづくり」の現状と今後
- 玉名を訪れた人にも市民にも優しく、きれいなまちづくり

質問 子どもたちが生きる力を育む学校環境整備に取り組んで！

子どもの成長には一定規模の教育環境も必要であるが、学校再編には様々な意見がある。そこで、近隣自治体には多くの小学校が統合しており、その取組事例を伺う。また、現在策定中の基本計画の内容と進捗状況及び今後のスケジュールは。

教育長 6月末に策定する「第2次玉名市学校規模・配置適正化基本計画」に基づき推進

近隣の山鹿市、和水町、熊本市西区等で小学校の統合が進んでいる。策定中の基本計画では、地域の実情に応じ段階的に統合を目指すこととしており、実施中のパブリックコメントを経て、6月24日の教育委員会会議で決定する。玉水小と小天小の統



合は、保護者等を対象に実施するアンケートとこれまでの意見を参考に市の方向性を決定する。また、複式学級を有する豊水小の保護者や地域へは、今後説明会を行うなど丁寧に対応していく。



その他の質問

- 一部過疎指定問題(天水地区)

質問 学校給食に地産地消を取り入れ、子どもの「食」への学びを深めては

学校給食は、児童生徒が身近な地域の食材を通して様々なことを学ぶ食育の場である。学校給食には地産地消を取り入れているか。また、地産地消を推進するためには、より多くの地域業者の協力や広域的な連携が不可欠と考えるが、今後の計画は。

教育 部長 地域の自然や農業に理解を深めてもらうため授業の中でも取り入れていきたい

地元産の野菜などの使用にあたっては、ＪＡと（有）横島町特産物振興協会から協力を得ている。本年度からは、本市と「玉名圏域定住自立圏」を形成している玉東町・南関町・和水町と協力し、広域的に地産地消事業を実施している。引き続き、地



▲毎日多くの食材を使用し栄養満点の給食

域や近隣の自治体と連携を図り、第3期玉名市教育振興基本計画に掲げる学校給食での地場産物使用割合の目標値である65%の達成を目指して、学校給食の更なる充実を図っていききたい。



その他の質問

- アフターコロナを見据えた玉名市の観光振興

質問 天水地区の過疎脱却に向け、過疎債を活用した学校の新設。その跡地を宅地開発しては

小学校の統合という課題もある中、天水地区の過疎脱却を図るためには人口増加対策が必要と考える。補助率の高い過疎債を活用し、公共施設等が集積しているエリアには学校を新設。また、小天小・玉水小跡地は宅地造成し、移住定住を促進しては。

教育 部長 市長 国の支援措置を活用し、教育、子育て環境等の充実、移住及び定住促進に努める

校舎等の改築、建設等を行う場合は、国の補助金や過疎債等、市の財政に有利な方法を検討していく。学校の位置は、未就学児及び小学校保護者へのアンケートや、「学校づくり委員会」でのこれまでの協議内容



▲玉水小と小天小の敷地

等を参考にしながら決定していく。国の支援措置を十分に活用しながら、教育・子育て環境の充実や交通手段の確保に取り組み、移住・定住促進に努め、天水地域の活性化と持続的発展を目指す。



その他の質問

- 玉名市の漁港について

質問 高齢化で経営存続の危機である小規模農家や漁獲量が激減した水産業への支援を

小規模農家の中でも、米作農家の高齢化は深刻で、経営存続を目的に農業機械の補助など市独自の支援はできないか。また、アサリの漁獲量が平成30年から出荷量ゼロとなっている水産業支援策として、水産専門職員を採用しては。

産業経済 部長 市長 農水産業者へは、今後も必要に応じ支援する

小規模農家への市独自の支援として、認定農家者に関係なく利用できる防油堤の設置やドローン技能認定、大型特殊免許、けん引免許等の免許取得に関する玉名市農業機械等整備事業を行っている。

新たな水産業への生産転換については、専門知識や経験を有する学識者又は企業等



▲アサリの資源回復に向けた作業を行っている漁業者

との協創により実効性の高い取組を模索する。水産専門職員の採用は、玉名市職員定員適正化基本方針でも掲げており、漁協の意見や要望等を把握しながら検討していく。



その他の質問

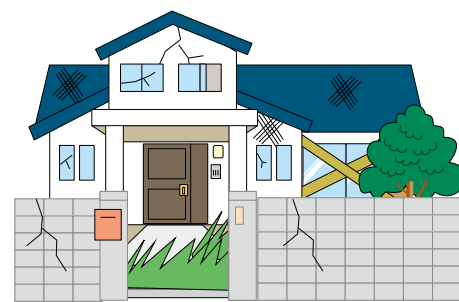
- 入札制度
- 石貫松本橋存続と修復に関する要望

質問 増加傾向の空き家には、計画的な取組が必要。対策・支援の更なる拡充を望む！

「空き家等対策推進計画」を基に様々な取組が行われているが、増加傾向の空き家には、空き家の抑制・利活用・除却の3段階に応じた対策・支援を計画的に進めることが必要と考える。移住定住や地域活性化に繋げるための今後の取組を問う。

総務 部長 玉名圏域構成町や不動産事業者等の専門家団体と連携し新たな事業を展開する

空き家対策の持続的な体制の構築と利活用を加速させるため、玉名圏域定住自立圏の構成町をはじめ、不動産事業者、専門家団体等と連携し、空き家利活用のセミナーや相談会等を実施する。空き家所有者の



様々な不安の解消を図り、空き家の抑制や適正管理を促し、利活用を加速させることで活力のある地方創生に繋げていきたい。併せて、チラシ等での啓発や補助金制度についても周知していく。



その他の質問

- 脱炭素社会への取組

質問 環境教育の推進に向け、学校施設ZEB化事業とエコスクール・プラスの推進を問う

国は地球環境に配慮した学校施設整備を推進。児童生徒が環境・エネルギー問題の学びをより深めるために、建物のエネルギー消費量をゼロに近づける「ZEB化事業」や、学校施設自体を環境教育の教材として活用する「エコスクール・プラス」を推進すべきと考えるが。

教育 部長 校舎の改築を行う際には、校舎の高断熱やLED化等、脱炭素の取組を行う

環境教育の推進は、節電や節水などに向けた行動目標や数値目標を定め、児童会や生徒会活動を中心に学校全体で取り組んでいる。エコスクール・プラスや施設のZEB



▲文部科学省などがエコスクール推進を紹介したパンフレット

B化は、非常に高い省エネルギー条件を満たす必要があるため認定は受けていないが、校舎の改築を行う際は、高断熱やLED化等、脱炭素の取組を行っている。



その他の質問

- マイナンバーカードの普及推進
- 原油価格・物価高騰に対する地方創生臨時交付金の取扱い

質問 コロナ禍での子育てに寄り添い、本気の応援を

コロナ禍で変化する子育て環境には柔軟な対応が求められる。本市の子育て支援センターは、各種講座や催し等の内容も充実しているが、まだ利用したことのないとの声も聞く。特典付きのスタンプラリー方式を導入するなど、さらなる周知を図っては。

健康福祉 部長 子育て支援センターの利用拡大について更なる周知を図る

現在は、広報紙やホームページで「子育てひろば」として行事等を紹介している他、スマートフォンやパソコンから検索できる子育て応援サイト「たまログ」でも情報を提供している。毎日の子育ての悩みや子育ての孤独感を軽減してくれる市内6か所の子育て支援センターの利用拡大に向け、議



▲スタンプラリーを提案(イメージ)

員による提案も利用拡大の一つの方法として前向きに検討し、更なる周知を図っていく。



その他の質問

- コロナ禍での学校生活の現状
- 市民にやさしい安心なトイレ

議会の取り組み



市議会ホームページでは、議会の活動状況や議員の紹介、政務活動費収支報告などの情報を掲載しています。



玉名市ホームページから市議会のページをご覧ください

玉名市議会

検索

ココからも閲覧できます



新着情報

議会の日程、審議結果や議長交際費など、最新情報を随時お知らせしています。

市議会だより

最新号のほかバックナンバーを掲載

会議録

本会議の会議録を掲載

議会の内容

提出議案、一般質問、請願・陳情の内容を掲載

その他に議員紹介や政務活動費収支報告を掲載しています。

インターネット中継

本会議、常任委員会のライブ中継や過去の本会議映像をご覧になれます。

令和4年第3回臨時会 (5月19日)

5月19日に臨時会を開催。市長提出議案1件を可決、条例の一部改正など4件の専決処分を承認した。

補正額
3億9,673万円



▲補助金対象となる農業用機械

主な内容

原油・物価高に対応した国の緊急経済対策

●臨時特別給付金事業等

3億8,201万円

- 生活困窮世帯へ 上限10万円/1世帯
- 住民税非課税世帯等へ 10万円/1世帯
- 低所得の子育て世帯へ 5万円/児童1人

●農業機械高騰による認定農業者への支援 1,200万円

討論 私はどう考える!!

原案反対

前田 正治

国民健康保険税の賦課限度額引き上げに反対
この条例改正により、国保税の賦課限度額が引き上げとなる。加入者の多い世帯では、その影響で増税となる。コロナ感染が終息しない中、物価の高騰で市民生活は厳しさを余儀なくされており、この状況下での条例改正には反対である。

令和4年第3回臨時会 議案の審議結果

■全会一致で可決、同意した議案

議番号	議 案 名	議番号	議 案 名
議第36号	専決処分事項の承認について 令和3年度玉名市一般会計補正予算(第16号)	議決第2号	
議第37号	専決処分事項の承認について 玉名市税条例等の一部を改正する条例の制定について	議決第3号	
議第38号	専決処分事項の承認について 玉名市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	議決第4号	
議第40号	専決処分事項の承認について 玉名市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	議決第6号	
議第41号	令和4年度玉名市一般会計補正予算(第1号)		

■賛否の分かれた議案

議 案		大野 豊重（自友）	中村 慎吾（新生）	浜田 繁次郎（新生）	瀬崎 剛（創政未来）	田浦 敏晴（第二新生）	山下 桂造（自友）	立川 信之（第二新生）	坂本 公司（第二新生）	吉田 真樹子（創政未来）	一瀬 重隆（自友）	北本 将幸（創政未来）	多田 限啓二（創政未来）	松本 憲二（自友）	徳村 登志郎（公明党）	西川 裕文（第二新生）	江田 計司（新生）	近松 惠美子（新生）	前田 正治（共産党）	作本 幸男（無党派）	森川 和博（無党派）	中尾 嘉男（第二新生）	田畑 ひさよし（無党派）	議決結果	
議第39号	専決処分事項の承認について 専決第5号 玉名市国民健康保険税条例等の一部を改正 する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	○	○	原案可決 （賛20、反1）

※新生…新生クラブ/第二新生…第二新生クラブ/自友…自友クラブ/創政未来/無党派…会派に属さない議員

行政視察

～予算決算を全議員で審査。荒尾市の手法を学ぶ～

6月7日、予算決算の審査を全議員で行っている荒尾市議会財務常任委員会を視察した。

玉名市議会の場合、3つの常任委員会に分けて審査を行っているため、全議員で予算決算を協議することの重要性を認識し、審査形態の見直しに取り組んでいる。



▲財務常任委員会の審査を傍聴

視察を終えて

全議員ですべての予算決算を審査するため共通認識することができた。多くの質疑もあり効率のいい予算審査と感じた。隣の自治体であるのに、審査方法がこんなに異なるとは知らなかったが、実際に現地視察をして、いい経験となり、玉名でも取り組むべきと感じた。（吉田 真樹子）

高校生が描く“表紙イラスト”作成現場を視察

7月12日、議会広報広聴特別委員会で、玉名女子高を訪問し、議会だよりの表紙イラストの作成現場を視察した。玉名のイメージを連想し、様々な工夫を凝らし制作に取り組まれていた。生徒さんには、今後も魅力的でひととき目に留まる表紙を期待しており、読者の増加に繋げたい。



“玉名らしさ”を生徒が描く様子を視察する議会広報広聴特別委員会

表紙のイラスト



玉名女子高等学校
みずもと 水本 あやさん

夜の暗い背景に、パツと映えるしだれ柳と浴衣姿の少女を縁側に映して、夏夜のほのぼのとした感じを出しました。

議会広報広聴特別委員会

（委員長）吉田真樹子 （副委員長）坂本 公司
（委員）

大野 豊重 中村 慎吾 浜田繁次郎
山下 桂造 立川 信之 前田 正治

9月定例会の予定

8月 26日(金) 議会運営委員会

9月 2日(金) 開会

12日(月) 一般質問

13日(火) 一般質問

14日(水) 一般質問

15日(木) 一般質問（予備日）

16日(金) 総務委員会

20日(火) 建設経済委員会

21日(水) 文教厚生委員会

28日(水) 閉会

※都合により変更になることがあります。

編集後記

例年よりも記録的な短さとなった梅雨が終り、早い夏が到来しました。線状降水帯による大規模な被害は記憶にも新しいところです。

災害の恐ろしさを改めて目の当たりにしており、災害への備え、情報発信などへ力を注ぎ、市民のいのちと生活を守る取り組みを進めていきたいと思っています。これからも市民のみなさんが見たい、知りたい、分かりやすい紙面を目指して「議会だより」で議会活動の発信に努めてまいります。

委員 大野 豊重

☆ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!